



CLIMB®プログラムは、がんになったお母さま/お父さまのお子さまが対象のグループです。厚労科研チャイルドサポート研究班により日本版が開発され、2010年8月より実践を重ね、その有用性が確認されました。2014年度からは、Hope Tree が主催しています。同じような状況にある子どもたちが集まって、みんなで一緒に絵を描いたり工作をしたり、話し合ったりしながら、自分の状況や気持ちに向き合う力を高めていくことをめざします。お母さま/お父さまのための親グループも並行して開催しています。

\* CLIMB®プログラム (Children's Lives Include Moments of Bravery) とは、アメリカで広く用いられている、がんの親をもつ子どものためのグループワークです。ファシリテーターはこのプログラムを行うためのトレーニングを受けています。

《対象となる方》	がんの診断を受けたお母さま/お父さまと6~12歳（小学生）のお子さま
《実施場所》	東京共済病院内会議室（目黒区目黒区中目黒2-3-8） 東京メトロ日比谷線・東急東横線「中目黒」駅より徒歩7分
《実施日時》	2017年2~3月の日曜日・全4回・各回110分 10:10~12:00 ①2月26日 ②3月5日 ③3月12日 ④3月26日
《活動内容》	親子一緒におやつタイム 子どものグループ（お話、工作・活動タイムなど） 親のグループ（自由な話し合いなど）
《参加費》	無料
《スタッフ》	医療ソーシャルワーカー、看護師、保健師・プレイ・スタッフ、臨床心理士、医師
《主催》	NPO法人Hope Tree

- グループへの参加ご希望の方には、大沢より詳しい説明と事前の面談（電話の場合もあり）をさせていただきます。どうぞお気軽にお問合せください。
- 参加者には、グループ参加後にアンケートを実施しております。アンケートへのご協力をお願いいたします。

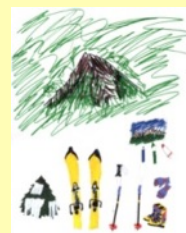
## ◆子どもにとってのグループの意義◆

子どもたちは同じような経験をしている他の子どもたちと、すぐに仲良くなります。

悲しくなったり怖くなったり、時には怒りを感じてしまうのも、普通のことであり、自分だけではないんだということを学んでいきます。グループでのさまざまな活動は、子どもたちが気持ちを抑え込んだり感情に圧倒されたりすることなく、気持ちを安全な方法で表現し穏やかにしていくことに役立つと思います。これまでにグループに参加された方々の生の声をいくつかご紹介します。



## お子さまの声



- すごくたのしくてみんなといっしょに会にこれてよかったし、またいきたい。(7歳)
- とくによかったのは、つよさのはこをつくるのがとてもたのしかったです。ほかにももっとつくってみたいです。(7歳)
- ともだちと遊ぶかんじだし、おにぎょうさんつくってお父さんのがんのこと学べたから役に立つしおもしろかった。(8歳)
- いろいろなことができて楽しかったです。スタッフさんもやさしかったです。また行きたいです。せつめいがわかりやすかったです。(10歳)
- みんなで仲良く協力してがんについてを学ぶことができてとても楽しかったです。よかったのは、同じ気持ちの人となかよくなれたことです。(10歳)
- もっと時間があつたらよかった。みんなといるのが楽しかった。(11歳)
- おやつがおいしかったです。みんなとふれあえるあの時間がすごくよかった。スタッフの人もやさしく、なれてきたら話せるようになりました。6回あるのがよかったです。(11歳)
- 一番最後の、お母さんに手紙を書いたのがよかった。ふだんは恥ずかしくて言えない事もいえたのでよかった。(12歳)



## お母さま・お父さまの声



- 子どもの心のケアの大切さを知り、対処法のヒントをいただきました。子どもはとても楽しく毎回参加するのを楽しみにしていました。最後の回の頃には私との絆も前より深まり、子どももいろいろな面で成長したように感じました。
- がんについての知識を得ることと、親が病気を抱えているのは自分だけではないと知ることが最も役立ったと思います。
- 子どもたちが悩んでしまうポイントをついているし、第三者からの発信なので素直に聞く耳を持ってくれたので、とても良かったです。もっと多くの子どもたちが参加できるようになっていけばいいと思います。
- 同病の家族同士で交流をもてた点が良かったです。患者会は親だけで、家族が交流するような機会はなかなかないので。子どもに対してとても丁寧に対応してくださったことに感謝しています。
- 私は病気になったばかりで、子どもにどう接してフォローしたらよいか分からなくて困っていたのですが、スタッフの方々のおかげで、なんとか毎日の生活が取り戻せた気がします。感謝しています。
- 長い闘病生活だが、同年代の子どもがいる方々と会うのは始めてだった。グループにきょうだい参加して、前より仲良くなった。みんなで同じことをやれたことが良かった。
- 私もすごく親しい友達にも話せなかったことを話せましたし、普段吐き出せない思いも吐き出せたと思います。(夫が治療中)
- 自分自身がグループに入るのは始めてだった。同じような人と一緒にいること、共感してもらえるのが、私自身にとってすごく良かった。(夫が治療中)

